

「地質情報展2008 あきた」 プレイベント開催報告

吉田 朋弘¹⁾・酒井 彰¹⁾・川畑 晶²⁾・藤原 智晴²⁾

1. はじめに

2008年8月2日(土)～3日(日), 自然科学学習館(秋田市民交流プラザ「ALVE」4F)において, 「地質情報展2008 あきた(9/19-21: ALVEきらめき広場)」プレイベントを開催しました。2日間で2,910名(8/2: 1,316名, 8/3: 1,594名)の来館者があり, ワークショップスペースをお借りした当展示にも多くの方がお見えになりました。

地質調査総合センター(GSJ)の研究成果は地域固有のもので, その情報発信・成果普及は決して簡単なものではありません。毎年1回, 場所を変えて開催している「地質情報展」は, 地質調査総合センターが行っている成果普及活動の中でも最たるものですが, 会場選り・展示ポスター作成・宣伝など, 毎回1からの始まりです。

夏休みの頭に, このようなイベントを開催できたのは初めてです。このプレイベントを開催したことによって, 本展(9/19-21)にどの程度影響(リピート)したかは確認できておりませんが, 実は, 地元の子ではなく里帰りの子も結構見受けられました。

2. 展示1: 宣伝コーナー

プレイベント用として, 宣伝用の展示ポスターを作成しました。A0サイズに拡大した通常の宣伝ポスターの他に, 「情報展ではこんな体験ができるよ!」ポスターを作成しましたが, 分かり易かつ綺麗で今後も活用できると想像します。

3. 展示2: 展示と解説コーナー

【「岩手・宮城内陸地震(6/14)」調査報告】

- 1) 産総研 地質標本館
2) 産総研 地質調査情報センター

地質調査総合センターのHPでは, 地震速報など随時調査報告を行っています。そのデータの中から写真・写真説明を抜き取り, A0サイズ2枚の展示ポスターを作成しました。大体のイメージから, 想像以上の出来上がりになりました。

会場では, 熱心に質問されている方も見受けられました。

【秋田の地質図】

20万分の1地質図幅「秋田及び男鹿」と5万分の1地質図幅「秋田」を, A0サイズに拡大し展示解説を行いました。

【秋田の滝と地質】

2005年に, 地質標本館特別展「東日本の滝と地質-北中康文写真展-」として開催した写真の中から, 秋田県(周辺)の「安の滝・老不知の滝・亀田不動滝・松山滝・元滝」とそこの地質図を展示解説しました。今風で言えば, 「写真(家)と地質(研究者)」のコラボですね。

この3テーマは, 酒井が担当しました(写真1)。



写真1 左から, 地震調査報告, 秋田の地質図, 滝と地質。

キーワード: 地質情報展, 秋田, プレイベント, 自然科学学習館, 日本地質学会, 地質調査総合センター



写真2 エキジョッカーを子ども目線で教えます。



写真3 「飛び出す火山」作成中。

4. 展示3：体験コーナー

【自由に遊ぼう「エキジョッカー・エッキー・砂変幻」】

イベントの定番ですが、川畑・藤原がメインで担当しました。しゃがみ込み、子供目線で説明する姿が印象的でした(写真2)。エキジョッカーなどでは、ペットボトルを上下に振り子供の目の前で「ぜんぶ沈むまで待っててね」と言った傍から、子供が手を出してしまいます。お母さんが「触っちゃダメでしょ。」と言って子供の手を押さえます。再度チャレンジ、今度は全部沈んでから「ちゃんと叩いてみて」と言うと、おしとやかに指で触る子・手のひらでバンと叩いてしまう子、いろんな子供がいますが、砂が下から盛り上がる様子を見て親子でビックリ！そんな、自然なアクションがうれしいのです。

【ペーパークラフト「飛び出す火山」を作ろう】

2007年に地質標本館では、地質情報研究部門 須藤 茂氏の発案で、ペーパークラフト「飛び出す火山」を作りました。1組で14種類の「飛び出す火山」を作ることが出来ますが、私達ですら1組作るのに約1日を要します(もちろん作り方にもよります)。

そこで、イベント用ではあらかじめ糊代に両面テープを貼り付け、14種類の中から作りたいのを選んでもらい、ハサミで部品を切って台紙に貼り付けるようにしました。

思いの外・・・と云っては須藤氏に失礼ですが、子どもたちは熱心に「飛び出す火山」を作ります。綺麗に作る子、大雑把な子、集中力のある子・無い子等々、子どもの性格が手にとって分かるのが面白いです(写真3)。

ちなみに、ペーパークラフト「飛び出す火山」を作りながら、こんな会話がありました。

吉田：おじさん達はね、東京のとなりの茨城県つくば市から来てるんだよ。

子供：つくば市、知ってるよ。

吉田：おっ！すごいねえ!! 何で、つくば市を知ってるの。

子供：だって、東京に住んで、TXに乗ってつくばに行ったことあるよ。

今は、おじいちゃん家に遊びに来てるんだよ。

吉田：そっかあ〜。じゃ、9月のイベントには来れないね。

子供：うん。

熱心に作ってた子でしたが、残念でした。

5. 最後に

9/19-21に開催された「地質情報展2008あきた 発見・体験! 地球からのおくりも」につきましても、本号で特集を組み紹介しております。

また、プレイベント・本展関係については、地質調査総合センターHPのイベントカレンダー (http://www.gsj.jp/Info/event/2008/johoten_2008/index.html) でご覧いただけます。

なお、2009年の地質情報展は岡山で開催を予定しております。詳細が決まりましたら本誌でご案内したいと思っております。

YOSHIDA Tomohiro, SAKAI Akira, KAWABATA Sho and FUJIWARA Tomoharu (2009) : Preliminary event before the geoscience exhibition in Akita 2008.

<受付：2009年11月17日>